

種の概要

北海道、本州、四国、九州では留鳥、沖縄では冬鳥。兵庫県では周年の記録がある。小笠原諸島には別亜種オガサワラノスリが生息する。平地、丘陵地から山地の林に生息する。山間から平地の農耕地や牧場、池沼、河原などの草原でネズミ類、ヘビ類、小型鳥類、昆虫類などを捕食する。

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原諸島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



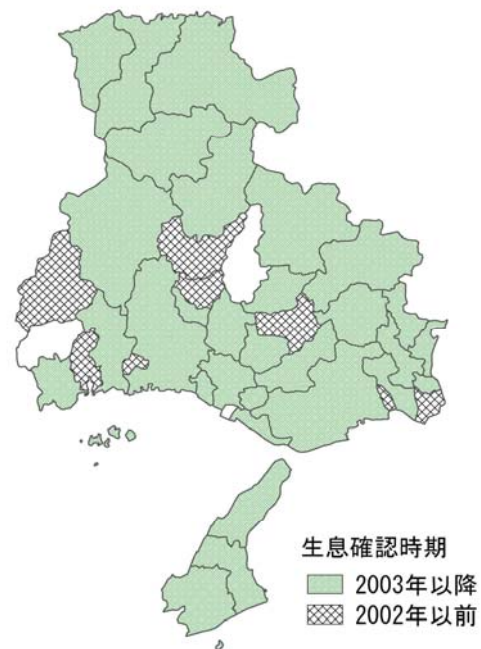
写真提供:三谷康則

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、洲本市、(芦屋市)、伊丹市、(相生市)、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、(加東市)、たつの市、猪名川町、稲美町、(市川町)、福崎町、(神河町)、(太子町)、(佐用町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

**県内における生息状況およびその他特記事項**

CランクからBランクに変更。
冬には県内で広く記録されているが、近年、減少傾向にある。繁殖期にも記録されているが、個体数は少なく、確実な営巣記録は限られている。

保護上の留意点

営巣が確認されている場所および繁殖期に生息が確認されている場所では、極力森林を保全し広く残すことが重要。